

平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ピックルスコーポレーション
 コード番号 2925 URL <http://www.pickles.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 荻野 芳朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 蓼沼 茂

TEL 04-2998-7771

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	16,078	16.7	309	△31.8	348	△29.9	160	△42.7
22年2月期第3四半期	13,780	—	453	—	496	—	280	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	25.12	—
22年2月期第3四半期	43.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	12,490	5,535	44.3	865.57
22年2月期	11,992	5,445	45.4	851.29

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 5,535百万円 22年2月期 5,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,028	15.3	420	△21.8	471	△19.3	223	△30.8	34.87

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 6,398,000株 22年2月期 6,398,000株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 3,226株 22年2月期 3,226株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 6,394,774株 22年2月期3Q 6,394,774株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
【第3四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア地域への輸出は堅調だったものの、欧米の景気回復の遅れや円高に加え、公共投資の削減、個人消費の伸び悩み等により、先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、天候不順による野菜原料の高騰、低価格化の進展、「食の安全・安心」に対応した品質の確保も求められており、依然として厳しい状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、好調な「ご飯がススム」キムチシリーズ（ご飯がススム、ご飯がススム 辛口、ご飯がススム カクテキ）を中心とした既存得意先への拡販や新規取引先の開拓のため、全国各地でのテレビCMの放映、電車広告や売場提案による販売促進活動を実施する等、全国の製造・販売拠点を活用した積極販売を実施いたしました。

製品開発面では、「ご飯がススム」シリーズの新商品となる「ラ～油うま辛きゅうり」「うま辛ザーサイキャベツ」「ねぎキムチ」「カレー福神漬」「生姜福神漬」やチーズやワインに合う程良い甘みとすっきりとした酸味が特長の「チーズとワインとピクルス」シリーズなどの新規分野でのナショナルブランド商品の開発を行いました。

製造面では、関西地区の生産能力増強を図るため、子会社である㈱ピクルスコーポレーション関西の新工場建設を行い、4月より稼働を開始した他、既存工場においても新規設備の導入を行い、全国でのキムチ生産の能力増強を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は、「ご飯がススム」シリーズが量販店等において売上を大幅に伸ばし、16,078百万円（前年同期比16.7%増）となりました。利益につきましては、春先の天候不順や夏場の猛暑などの影響による白菜、胡瓜等の原料野菜の仕入価格高騰の他、テレビCM等の広告宣伝費の増加、関西地区新工場稼働に伴う費用増加等の積極的な投資活動により、営業利益309百万円（前年同期比31.8%減）、経常利益348百万円（前年同期比29.9%減）、四半期純利益160百万円（前年同期比42.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて498百万円増加し、12,490百万円となりました。これは主に建物及び構築物の増加と機械装置及び運搬具の増加によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて408百万円増加し、6,955百万円となりました。これは主に長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて90百万円増加し、5,535百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、980百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、344百万円となりました。収入の主な要因は税金等調整前四半期純利益と減価償却費であり、支出の主な要因は法人税等の支払額であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、649百万円となりました。支出の主な要因は有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、401百万円となりました。収入の主な要因は長期借入れによる収入であり、支出の主な要因は長期借入金の返済による支出であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、平成22年10月4日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	980,885	883,993
受取手形及び売掛金	2,005,181	1,941,935
商品及び製品	107,851	88,148
仕掛品	32,133	32,455
原材料及び貯蔵品	152,395	125,089
繰延税金資産	46,566	49,292
その他	53,319	79,224
貸倒引当金	△3,486	△3,774
流動資産合計	3,374,846	3,196,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,475,078	4,972,565
減価償却累計額	△3,620,085	△3,488,905
建物及び構築物(純額)	1,854,992	1,483,660
機械装置及び運搬具	2,478,342	2,381,627
減価償却累計額	△1,893,994	△1,944,746
機械装置及び運搬具(純額)	584,348	436,881
土地	5,897,684	5,897,684
リース資産	53,111	6,434
減価償却累計額	△5,145	△76
リース資産(純額)	47,965	6,357
建設仮勘定	—	254,275
その他	137,539	131,105
減価償却累計額	△116,740	△111,700
その他(純額)	20,798	19,404
有形固定資産合計	8,405,789	8,098,264
無形固定資産		
投資その他の資産	49,672	41,153
投資有価証券	256,713	304,299
繰延税金資産	316,545	258,711
その他	290,131	296,384
貸倒引当金	△202,966	△203,106
投資その他の資産合計	660,423	656,287
固定資産合計	9,115,886	8,795,705
資産合計	12,490,732	11,992,070

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,816,077	1,611,590
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	920,292	119,782
リース債務	12,466	965
未払法人税等	67,120	202,480
賞与引当金	35,572	88,731
役員賞与引当金	—	23,600
その他	658,296	773,031
流動負債合計	4,359,824	3,670,179
固定負債		
長期借入金	1,703,810	2,032,568
リース債務	53,171	5,710
退職給付引当金	237,679	230,017
役員退職慰労引当金	106,798	99,958
繰延税金負債	762	975
負ののれん	474,836	502,429
その他	18,461	5,102
固定負債合計	2,595,519	2,876,761
負債合計	6,955,344	6,546,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	740,900	740,900
資本剰余金	669,100	669,100
利益剰余金	4,136,633	4,039,941
自己株式	△1,334	△1,334
株主資本合計	5,545,299	5,448,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,156	△4,798
評価・換算差額等合計	△10,156	△4,798
少数株主持分	245	1,321
純資産合計	5,535,388	5,445,129
負債純資産合計	12,490,732	11,992,070

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	13,780,026	16,078,675
売上原価	10,704,619	12,657,452
売上総利益	3,075,406	3,421,223
販売費及び一般管理費	2,621,411	3,111,594
営業利益	453,995	309,629
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	1,765	2,362
負ののれん償却額	28,155	28,155
受取賃貸料	12,861	12,861
事業分量配当金	6,987	6,044
容器リサイクル費用返戻金	12,716	13,297
その他	13,482	17,607
営業外収益合計	75,970	80,331
営業外費用		
支払利息	25,570	26,386
持分法による投資損失	7,417	15,122
その他	—	9
営業外費用合計	32,987	41,517
経常利益	496,978	348,442
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,764
国庫補助金	—	2,065
受取保険金	—	8,454
特別利益合計	—	16,283
特別損失		
固定資産除却損	3,535	—
固定資産処分損	—	42,200
関係会社株式売却損	—	2,857
災害による損失	—	11,133
特別損失合計	3,535	56,190
税金等調整前四半期純利益	493,443	308,535
法人税等	212,193	148,970
少数株主利益又は少数株主損失(△)	886	△1,075
四半期純利益	280,363	160,640

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	4,393,654	5,020,383
売上原価	3,408,496	3,976,845
売上総利益	985,157	1,043,537
販売費及び一般管理費	876,165	984,852
営業利益	108,991	58,685
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	471	971
負ののれん償却額	9,385	9,385
受取賃貸料	5,067	4,287
その他	2,965	4,620
営業外収益合計	17,890	19,265
営業外費用		
支払利息	8,056	8,924
持分法による投資損失	4,353	11,722
営業外費用合計	12,409	20,646
経常利益	114,471	57,304
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,764
受取保険金	—	8,454
特別利益合計	—	14,218
特別損失		
固定資産除却損	262	—
固定資産処分損	—	4,439
関係会社株式売却損	—	2,857
災害による損失	—	11,133
特別損失合計	262	18,430
税金等調整前四半期純利益	114,209	53,092
法人税等	48,694	29,160
少数株主損失(△)	△33	△0
四半期純利益	65,547	23,932

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	493,443	308,535
減価償却費	210,317	276,328
固定資産除却損	3,535	—
固定資産処分損益(△は益)	—	42,200
災害損失	—	11,133
受取保険金	—	△8,454
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5,764
関係会社株式売却損益(△は益)	—	2,857
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△170	△427
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,167	△53,159
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,800	△23,600
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,380	7,662
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,961	6,840
負ののれん償却額	△28,155	△28,155
持分法による投資損益(△は益)	7,417	15,122
受取利息及び受取配当金	△1,767	△2,364
支払利息	25,570	26,386
補助金収入	—	△2,065
売上債権の増減額(△は増加)	66,094	△63,245
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,001	△46,687
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,992	204,487
その他	149,858	38,794
小計	847,525	706,424
利息及び配当金の受取額	2,187	2,784
利息の支払額	△27,202	△26,357
災害損失の支払額	—	△11,133
保険金の受取額	—	8,454
法人税等の支払額	△195,960	△335,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	626,549	344,197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△674,020	△706,849
有形固定資産の売却による収入	—	373
補助金による収入	—	29,553
無形固定資産の取得による支出	△1,685	△3,291
投資有価証券の取得による支出	△12,069	△4,119
投資有価証券の売却による収入	4,500	19,033
関係会社株式の売却による収入	—	11,000
その他	320	5,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682,955	△649,097

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	—
長期借入れによる収入	1,050,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△1,148,140	△128,248
リース債務の返済による支出	—	△6,126
少数株主からの払込みによる収入	250	—
配当金の支払額	△63,803	△63,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	338,306	401,791
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	281,900	96,891
現金及び現金同等物の期首残高	453,965	883,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	735,866	980,885

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。